



☆国民と自衛隊とのかけ橋
☆会員と関係者相互の親睦と情報交換

隊友よこはま南

一筆啓上特集号

2021年6月1日

公益社団法人隊友会
横浜南支部
責任者 五島浩司

「コロナ禍の憲法記念日に」

横浜南支部長 五島 浩司

5月3日の憲法記念日は「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」ことを趣旨とした国民の祝日である。憲法は国の成立に係る根本規範となる基本的な原理原則に関して定めたもので、その改正は最終的には国民の承認を必要とする。年に一度くらいは自国の憲法がこのままで良いのか考えてみてもよいと思うのだが、ゴールデンウィークと真ん中の憲法記念日には少々酷な話かもしれない。たとえ自粛が求められている今年であっても、国民の喫緊の関心事はコロナとワクチン接種であつて、憲法改正に思いを馳せる余裕はないというのもしやむを得ないのだろう。

しかし今年も各新聞は恒例の憲法改正に関する世論調査の結果を掲載している。ご存じのとおり、毎年、各紙の結果はバラバラで、それを信じて良いのか。それは質問の仕方や質問の表現で調査結果が大きく違ってくるからにはかならない。質問内容について十分理解していない人の回答は容易に左右に振れる。言い換えれば、調査する側の都合の良い方向に意図的に操作することは十分可能だ。2千人程度の回答者をどのように選ぶのかというの結果に影響するはずだ。公平性や客観性に欠ける調査は各紙の主張を裏付けるための道具となり得るといふことだ。関心が低い有権者や理解不足の有権者は好都合な数字を作り上げるために利用されているように思える。

そんなことは百も承知のつもりなのだが、今年のゴールデンウィークもコロナの影響で殆ど家に閉じ籠っていた私は結局その数字を見てしまった。しかし今年は様子が少々違うように思えた。例年と同様に各紙の質問と回答の選択肢にはその意図が垣間見れたが、それを差し引いたとしても、私には僅かではあるが改憲に肯定的な方向に動いているように感じられた。以下のとおり、改憲派が改憲反対派（「護憲」という言葉は適当とは思えないので）を上回っているというのは各紙共通のようだった。

A紙	改憲賛成 45%	改憲反対 44%
M紙	改憲賛成 48%	改憲反対 31%
S紙	改憲賛成 52.6%	改憲反対 34.9%
Y紙	改憲賛成 56%	改憲反対 40%
(参考)	NHK	改憲賛成 33% 改憲反対 20%

これは私の希望的観測なのかもしれないが、一部の新聞にとつて、今年も好都合な数字を並べるのに苦労しているように感じた。操作し辛くなった、隠し切れなくなつてるとすれば喜ばしいことだろう。とりわけ賛成反対が最も均衡していたA紙が出した結論が「憲法改正の機運は盛り上がっていない」、

「9条は変えない方がよい」となっていたのは思わず笑ってしまった。「世論調査は当てにならないようなことを言っておきながら、舌の根も乾かぬ間に、その結果にほくそ笑んでいるではないか」とのご指摘には弁解の余地は全くないのだが・・・

マスコミは「第四の権力」と言われる。それは立法・行政・司法が正しく機能しているかをチェックし、事実を正確に国民に報道するが故である。しかし日本のマスコミは事実を公平、中立的かつ、分かりやすく国民に報道するという責任を全うしているだろうか。各紙がそれぞれ主張や意見を発信するのは大いに結構だが、自らの主張に都合の良い「事実の捻じ曲げ」、「情報の切り取り」などで国民を惑わしているとするれば、それは心から恥ずべきだと思う。一方、国民もマスコミに対して「鵜呑みにしない」「騙されない」「惑わされない」という強い意志を持ち、様々な視点の情報を集めて総合的に判断する姿勢が求められていると思う。

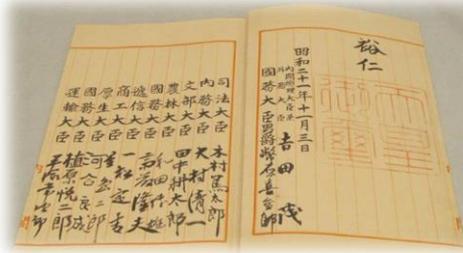
そして憲法記念日のもう一つの恒例行事と言えば、憲法改正賛成派や反対派が開催する各種イベントである。今年、私は「この憲法で国家の危機を乗り越えられるのか！〜感染症・大地震・尖閣〜」をテーマとした公開憲法フォーラムに会場参加する予定だったが、非常事態宣言の発令を受け、感染拡大防止のため会場参加は中止ということで、インターネット・ライブ参加となった。菅総理、主催者代表の櫻井よしこ氏、河野前統合幕僚長、与野党国会議員、大学教授等々がそれぞれの改憲への思いを熱く語った。自衛隊明記をはじめとする憲法改正はOBにとつては悲願であり、確かに心強い思いがしたし、イベントの意義も十分理解できた。しかし、毎年この類に参加している顔ぶれは、比較的高齢の「そうだ！そうだ！」の人が殆どではないかと感じたのも事実である。憲法改正を実現するため、改憲派を一人でも増やすという観点で考えれば、本当に参加して貰いたいのは「そうだ！そうだ！」の人ではなく、「へえ、そうだったのか！」の人なのだと思う。すなわ

るが故である。しかし日本のマスコミは事実を公平、中立的かつ、分かりやすく国民に報道するという責任を全うしているだろうか。各紙がそれぞれ主張や意見を発信するのは大いに結構だが、自らの主張に都合の良い「事実の捻じ曲げ」、「情報の切り取り」などで国民を惑わしているとするれば、それは心から恥ずべきだと思う。一方、国民もマスコミに対して「鵜呑みにしない」「騙されない」「惑わされない」という強い意志を持ち、様々な視点の情報を集めて総合的に判断する姿勢が求められていると思う。

ち、憲法改正について未だ決めかねている人、未だ関心が薄い人、メディアに惑わされている人などである。一人でも多くのそのような人にイベント参加を呼びかけることこそが私達に求められているのではないかと思う。それは私達が会員仲間大勢で参加するより遙かに価値がある筈だ。もしそれがSNSなど発信力の優れた若い「へえ、そうだったのか!」の人であれば、さらに期待は膨らむ。子や孫、親戚、知人など、1人の会員が身近な1人に声を掛けることくらいなら決して無理な話ではないと思うので、是非とも会員皆様の努力目標として頂ければ幸いである。

多くの憲法学者が自衛隊を違憲と捉えている中で、自衛隊は尖閣などの警戒監視、弾道ミサイル防衛、海賊対処、災害派遣は勿論のこと、山林火災、山岳救助、豚コレラ、鳥インフルなどでも便利屋のように使われ、今はコロナのワクチン接種でも大忙しである。自衛隊は憲法違反のまま、利用できるところで使い放題というのでは志願する者がいなくなる。正直なところ、「それは自衛隊でなければできないのか?」と問いたくなることもある。「自衛隊は最後の砦」とよく言われるが、間違っても最後の砦が早々に潰れてしまう訳にはいかない。5月11日、国民投票法改正が衆院本会議で可決され、参院に送られた。今国会で成立させる見込みということなので、この機関紙が届く頃には結果は出ているだろう。まだまだ先は気が遠くなるほ

ど長いだろうが、現場で必死に痩せ我慢をしている現役隊員やその家族のために、一歩でも半歩でも前進となってくればと切に願う次第である。



支部総会における議事等要旨

本年度の支部総会につきましては、本年3月の「隊友よこはま南」第44号でご案内の通り、昨年同様、会員の皆様から葉書等にてご意見を頂戴した上で、これを踏まえて理事役により審議・採決となりました。

コロナ禍の中、多くの皆様から案に対する賛意と励ましの言葉を頂き、異論なく、令和3年度横浜南支部運営計画(案)、行事予定表(案)、支部役員表(案)は、いずれも(案)のとおり、決定いたしました。また、会計につきましても、大津監事役による監査結果報告を得て、健全な状況を確認し、令和3年度をスタートしました。

新型コロナウイルスは人と人とを分

断し、心を通わせる行事というものができない状況をもたらしており、支部の活動も大きく制限を受けておりますが、一日も早い終息と、皆様のご健康をお祈りいたします。

隊友会本部総会議決権代理行使委任状等において「返信はがき」に一筆添えて下さった方々です。ここに紹介させていただきます。

— 順不同・敬称略 —

参議院議員 中西 けんじ

(祝電)

神奈川県隊友会横浜南支部令和三年度定期総会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。貴支部の今後益々のご発展と皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

特別会員

参議院議員 中西 けんじ

隊友会横浜南支部総会の開催を心よりお慶び申し上げます。感染症により人心が不安定となる中、高い規律を備えた皆様の益々のご活躍に大いに期待し、会員ならびにご家族のご健勝を祈念致します。

自由民主党横浜市栄区第一支部

支部長 角田 宏子

総会へご準備に感謝申し上げます。ま

た日頃から隊友会活動、特に自衛隊の現場の声、我が国の防衛の歴史をお伝えいただく「隊友よこはま南」の掲載記事に敬服いたします。

正会員

(西 区)

浦川 徹郎 海 75歳

コロナは相当年続くでしょう。三密を避けながら、月々金仕事を続けています。(たまに土・日も)何とか元気でやっています。

高橋 吉三 陸 86歳

お陰様で普通の生活をして居ます。今後とも宜しく願います。

(中 区)

足立 晴夫 海 72歳

原宿の東郷神社に勤めて5年が経過しました。新型コロナウイルスに負けずに毎日出勤しています。土・日曜日は下手の横好きのテニスで楽しく健康づくりです。

大内 敏彦 海 64歳

この春、防衛省職員(非常勤隊員)の採用試験に合格し、4月1日付で横監・経理部・経理課において二度目の御奉公をすることとなりました。一度は「老兵は消えるのみ」とした身ではありますが再度初心に戻り頑張りたく、張り切っています。

【南区】

葛城 信次 陸 72歳

コロナ禍ではありますが、横浜南支部の皆様にはお元気にてお過ごしのことと拝察申し上げます。私は健康維持のため、毎日約2時間、近隣周辺を散歩しています。四季の変化を感じるとともに新しい発見をしています。

櫻井 和彦 陸 90歳

五島支部長 外 役員の皆様、ご苦勞様です。コロナ禍中「支部の運営」大変ですが、宜しく願います。

新聞 仁司 海 66歳

昨年、第二の仕事も終わり、コロナ禍、何処にも行かずに自宅で大人しくしていました。やはり、退屈で、時間を持て余してしまい、財団法人 横浜交通安全協会にて仕事を始めました。併せて、時間が空いた時は海上での仕事も掛け持ちしております。最近では、旅行に行きたい気持ちが高ぶって、ユーチューブの旅行関係を見て、「行つたつもり」で楽しんでおります。

寺地 重告 海 72歳

尖閣諸島、中国に乗っ取られるぞ。毅然とするのは中国の恫喝と違法行為。毅然としないのは政府の優柔不断な対応。

高橋 清 陸 87歳

昨年、磯子区の自宅で倒れ、入院、

幸い月余で退院、南区の介護型住宅に入居し、現在に至っています。京急上大岡駅に近く、旧宅にも徒歩圏のため旧宅管理も自分でやっております。コロナで閉門状態です。

藤田 泰夫 海 75歳

支部総会を含め支部長のお考えに同意します。特に高齢者が多い現状を考えるとワクチン接種が行き渡るまでは、三密防止は続行すべきと考えます。役員の皆様もお気を付けてください。

吉田 巖 海 62歳

南区の地区センター勤務と近所の障害施設のボランティアをしています。コロナ禍のため、ダイビングは昨年来行っていないかもしれません早く潜りたいです。

【港南区】

安藤 智一 陸 66歳

やつと色々な事に参加出来るかなと思つている時にコロナで全部ダメに、早く元の生活が出来ることを祈っています。自衛隊が憲法上認められるように元自衛官として祈っています。

大迫 義谷 海 64歳

「敗戦・そして引揚げ・帰国」は体験していない話であり、別世界を見るような気持ちで読ませてくださいました。

【磯子区】

川守田 健雄 海 79歳

間もなく八十路の断捨離を更に進めねばと思います。スポーツクラブに通い、俳句少々の日々を送っています。

田原 昭彦 陸 66歳

令和3年3月末をもって、川崎市役所での役割を終えました。岡山県庁での5年間の勤務の後、川崎市役所での5年間、合わせて10年間地方の防災行政に携わりました。今後は、防災のコンサル会社の支援をしながら、横浜南支部の活動に熱く参加したいと思つていますので宜しくお願ひします。

【金沢区】

石橋 啓志 海 69歳

私2年前から俳優をやつています。神奈川県共創事業に応募し、「横須賀シニア劇団よっしや」の一員として活動しています。この年齢では、動きも台詞覚えも大変ですが、いわゆるボケ防止には最適と楽しんでます。

大津 雅紀 海 65歳

コロナの猛威収束の気配もなく、相変わらずの報道ぶりにはイライラ・モヤモヤつのるばかりです。幸い日々の個人生活は淡々としたもので平穩に過ごしています。皆様も御

健康に今ある毎日を大切にして下さいますようお願い致します。

大西 規雄 陸 74歳

いつもお疲れ様です。武漢発の肺炎禍一日も早くワクチンを打つて以前の生活に少しでも戻りたいと思つています。

大堀 三男 空 89歳

足の骨折のため、歩行器を使用してリハビリに専念しています。

竹中 信 海 72歳

自粛生活、手帳を見れば会合の予定は無く、通院の予定ばかり、年相応に暮らしています。役員の皆様いつも有難う御座います。

寺田 信夫 陸 71歳

コロナ禍で隊友会活動もままならないと思つていますが、ワクチン接種の完了をもって逐次活動しましょう。

長谷川 洋 海 69歳

いつもお世話になります。ワクチンを待ちつつ原宿に通勤しております。皆で集まれる日が来るのを楽しみに、もう少し辛抱しましょう。

濱野 靖 陸 80歳

今年、後期高齢者6年生です。一日一日を大切に生きる事に。

山中 才司 海 68歳

このコロナ禍、週4日ジムに通い、

体力増進、免疫力強化に励んでいます。

山下 繁雄 海 88歳

元氣ではありませんが、耳が遠くて不自由しています。役員の皆様、ご苦労様です。益々の隊友会の発展を祈っています。

【保土ヶ谷区】

濱田 正徳 陸 61歳

定年して早くも7年目になりました。後任者(支部事務局)募集中です。

吉田 道也 陸 77歳

喜寿を迎え、コロナ禍で外出自粛が続くなか、終末期に向け身辺の整理に取りかかることにしました。

【戸塚区】

浅野 誠二 海 68歳

何時も会誌送付等有難うございます。過日、神奈川県赤十字血液センターから、長年の献血貢献という事で感謝状なるものが届きました。まだ献血出来る間は、大したボランティアもこのコロナ禍では不可なので頑張りたいと思っています。隊友会に何かオリ・バラ関連のボランティア情報があればお知らせ下さい。暇なので応募出来たら参加したいと思っています。

【栄区】

川枝 康晃 海 76歳

退職後、二十年が経ち、午前は読売新聞を読み、午後は、栄区の桂台地区の住宅地を散歩することが日課となっています。また、年初に購入した雑誌「丸」社のカレンダーで海上自衛隊の最新の艦艇と航空機を眺めるのが楽しみです。

田村 豊海 95歳

いつも楽しく読ませて頂いています。支部長には長いこと御苦労様です。今後とも御活躍のほど祈っています。今回の「隊友よこはま南」の伊藤さんの文書の中で「海自は海保から分離した組織」とありましたが、そんなことはありません。最初から全く別組織であり、当初海保本庁に間借りしましたが、政府、Y委員会の研究のもと全く別のものとして誕生しました。

野口 淳海 86歳

いつ迄続くかコロナ禍よ！自粛生活にもすっかり飽きて自閉症気味の今日此の頃です。何とか乗り切っている日を迎えましょう。

【泉区】

角館 満弘 陸 77歳

家族を含めた支部会員の旅行をしたいネェ、温泉地とか常磐ハワイとか一年に一回位は、

佐々木 利雄 海 87歳

コロナの感染拡大傾向で自粛の日々ですが、早く菌の拡散が消滅して

ほしいものです。コロナ菌に感染しないよう気をつけていきましょう。

洞澤 佳廣 陸 77歳

今回のコロナ禍は、緊急時の法的根拠があやふやで個人の自覚に頼るしかなく、言葉の遊戯を見ている思いで誠に悲しい感じ です。

【区域外】

渡邊 秀樹 海 76歳

小さな組織ではありますが、自衛隊の応援団を自認する「防人と歩む会」の理事長を務めており、昨年10月には五島支部長の講話を頂くなど、防衛思想の普及に一役買っており、隊友の皆様の益々の御健勝を心からお祈り申し上げます。

人類史の転換点(富の分配)

海自OB **渡邊 智弘**

戦後最大の変化は冷戦の終結(1989年)であった。それから30年、人類は明らかに次の大きな転換点を迎えている。その要因の一つは、中国の覇権拡大である。そして、もう一つは急速な環境破壊である。しかし、まずは前者の問題を解決しない限り、地球規模の環境問題への本格的な取り組みには進めない。そして、その解決策は、富の分配にある。

アメリカが唯一の超大国となった。ソ連型の社会主義体制と社会主義経済圏が崩壊し、世界の経済が資本主義経済・市場経済により統合され、グローバルゼーションが進行した。アメリカは「冷戦の戦勝国」という自信から、1991年の湾岸戦争に引き続き中東への関与を深めた。これに反感を抱くアルカイダは2001年にアメリカ同時多発テロ事件を惹き起こし、アメリカはテロへの対応に振り回されることとなる。

その間、中国は改革開放の名のもとに資本主義経済を取り入れ、2010年には世界第2位の経済大国となった。その経済力を背景に、軍事力を急速に拡大し、さらにあらゆる分野から超限戦を展開し、近年では世界に対する覇権を隠さない状況となっている。中国の経済力の拡大を許してきたアメリカも2010年代後半からは中国に対する見方を変え、その他の国々も中国の脅威を認識するようになった。

今、人類は、中国共産党一党独裁による覇権を許すのか、それとも自由、人権を基本理念とした社会を守るのか旗幟鮮明にする時期が来ている。特に、中国国内では、監視カメラの映像処理技術により個人の監視が進んでいる。そして、電子マネー取引の徹底により金融の流れも党が個人レベルまで把握できるような体制が整いつつある。中国は国内に限らず、この拡大を狙っているように見える。中国の約10億の人口の情報

が管理できれば、その10倍の容量で全世界の情報管理も可能である。自由主義社会は、これにどのように対応するのか、今これに対応できなければ、人類は中国共産党の進める経済システムに飲み込まれる可能性がある。

人類の歴史は、軍事(力)と経済(利益)と文化(価値)の3つの位相の複雑な絡み合いと時間、空間の拡がりの中で発展してきた。人類が賢明であれば、軍事(力)に関して、核を使用した衝突は避けるであろう。経済(利益)の観点からは、人類全体を養えるだけの経済は既に確立していると思われる。衣食住を見ても、生産量は消費量を上回っており、全人類に供給できる生産力は十分に保有している。問題はその分配ができないことにある。文化(価値)については、自由、人権を重視するのか、一党独裁の共産主義なのかということである。この答えは、冷戦終結時にすでに出ていたはずである。しかし、共産主義という妖怪は形を変えながら、中国や北朝鮮に独裁国家として残っているし、自由主義国家ですらその内部から文化共産主義に脅かされている。

とするならば、人類が今、しなければならぬのは何であろうか? それは、富の分配であると考ええる。科学技術は、驚異的な速度で進歩した。中国の例で示したように、いずれ、商品の売買は全面的に電子マネーでの取引になるであろう。そう

すれば、何時、誰が、何処で、何に支出したかが完全に把握できる。しかし、これは、共産主義の中国も、自由主義世界も違いはない。ここに、富の分配(再分配)が加わることが重要である。さて、ここで言おうとする富の分配とは、具体的には政府が暮らしに必要な最低限のお金を無条件で国民に配る「ユニバーサル・ベーシックインカム」の導入である。所得の格差が拡大し、富が一部に集中していることは明らかである。この再分配がなされるならば、自由主義世界の人々も、金銭の収支といった個人情報利用を容認するであろうし、それができれば、分配の流れをコントロールすることによって、環境破壊の問題に取り組むことも可能である。これを早急に世界レベルで実施することが必要である。そして、今このボタンを押せるのはアメリカだろう。

敗戦：そして引揚げ・帰国

海白OB 野口淳

前号から続く

根本中将与降伏式を行った傳作義将軍について紹介したい。

○ 傳作義将軍

抗日戦の折りには名將の呼び声が高かったようだが、北京に司令として来てからは城外に出没する八路軍退治に撃つて出ては、コテンパンにやられっぱなしで愚將の評価に成り下がっていたが、共産軍の北京包囲戦に際

しては、勝海舟に倣った無血開城をして文化資産を保護したと、少なからぬ評価を得ている。

話を元に戻して、降伏式が終わった時点で治安の維持責任は中国側に移った。中国人達は自分達の軍隊が入って来て北京を抑えたとなると急に気が強くなって、日本人達を数段下に見下すようになった。この辺りから日本人達の受難が始まったのである。

大通りを歩行中の日本人にわざとぶつかり、衆人の前で道路に土下座させて謝らせたり、教練のS先生は剣道4段の猛者であったが、ある夜幾人かの暴漢に襲われ刺されて死亡されたとの噂が流れて来た。私の家でも父がこれまで勤めていた華北交通(株)から退職金代わりに貰って来た医療用の細いゴム管の大型木箱6個を、ある夜7、8人の中国人がやって来て隠匿物資の接収に来たと称して、有無を言わず運び出し父もそのまま連行されていった。訴えていく機関が分からず不安におののいていたが、その筋の中国人を介して賄賂の金を渡し3日後に解放されて帰宅したが、この間の不安は大変なものであった。この賄賂については中国を離れて船に乗るまで常に必要であった。

10月中旬に入ると米国の海兵隊も入城して来て、東交民巷に在った元の米国大使館やドイツ、イタリアの大使館及び兵營を占拠して駐屯した。アメリカ兵たちは茶目で底抜け

におおらかで、ケンタッキーやアラバマ辺りの田舎者であったと言われるが、私が異人を見た最初の経験である。さすがに国民党の特務達とは比べものにならないほど統制が行き届いていたと耳にしていた。そして今迄の戦争相手の日本人の方に何か妙な親しみを感じているようで、中国人を見下していたように見受けられたのである。

しかし、ある日の夜半2人の巡査と、アメリカ兵1人に2、3人ほどの中国人達が、どやどやと我が家に押し込んで来て例によって接収騒ぎになり、どうも状況がおかしく思われ、翌日、警察署に訴えたところ、今回の事件は巡査の服装といいどうやら以前の汪兆銘政府の時の巡査達の仕業らしいという事であった。アメリカ兵の中にも現地人に乗せられて悪事に手を出す者も居たようである。この為、四合院内の9軒の方々と協議した結果、この北京で現地除隊した独身の日本兵2人を、日本に帰還できるまでの間、警備に入って貰うことになった。軍用犬(シエパード)1匹を連れて居候することになり、幸い空いている一軒に寝泊りして貰い、三度の食事は毎日9軒の輪番で受け持ち、昼間は休養し夜間は徹夜で園内を巡回して貰ったが、滞在中2件ほど道路の電柱をよじ登って侵入しようとした不審者を軍用犬が察知し、事なきを得た事件もあった。

毎日の食料品は、兄と二人で2、3日置きに街中の市場に行き買い求め

て来るのだが、顔なじみの中国人の八百屋や肉屋の親爺さん達は「小孩児！よく来たね、今日は何が要るのか？」と聞かれるのに、大抵の会話は出来た私がこれこれと母にメモされた品物を頼むと快く売って貰えた。兄と二人で行動するのは、以前から中共（八路軍）の人攫い（誘拐）が横行しており、夕方以降の一人での外出は禁じられており、親達は「パ一口に連れて行かれるぞ」と事あるごとに注意していた。日本人の児童は身代金目当てもさることながら、頭脳の優秀さを高く評価されており、10年程前新聞紙上を賑わした残留孤児の親探し問題も記憶に新しい出来事である。

このように自粛生活を余儀なくされながら、父母の故国日本に何時帰れるのか？先行きが見えない不安いっぱいの中に、1945（昭20）年は終わりを迎えようとしていた。

次号に続く

足尾銅山への旅に参加して

陸自OB 葛城 信次

大先輩海老坪先生（95歳）の付添い世話役として去年十月六日から二泊三日の行程の旅に参加しました。

最初は先生の移動及び宿泊間の安全補助役ということで、自分の時間は自分のことができると思い参考書を携えて出発しました。

小学校で習って足尾銅山の公害のことは少し知っていました。しかし、宿

泊予定の国民宿舎かじか荘に着くと直ぐ、旅の目的について先に来られていた役場助役さんとかじか荘の統括総務長さんに告げられ、明日から二日間の行動予定についての調整の場に同席でき、お聴きしている間に助役さんの準備された資料と熱意の込められた説明にいつの間にか興味が湧いてきて、真剣になっていました。それは、助役さん・統括総務長さんの足尾銅山の誇りと足尾町に対する深い愛情に接してしまつたからです。

海老坪先生の足尾行き当初の目的は、先生の大恩師坂田祐先生の足尾鉾山従事の顕彰プレートの確認と祐先生（後に関東学院創設者）のご両親の菩提寺・お墓参拝でしたから、二泊三日の私の任務は完遂できましたとともにも、有り余る貴重な見分の場を得ました。その学びを隊友会横浜南支部の皆様と共有したいと思い、お世話になつた人々に感謝しつつ、足尾銅山について大まかですが概要を紹介いたしますので、参考にして下されば幸いです。まず、寛永通宝における豆知識を紹介します。お金のことを「おあし」と言われていますのは、寛永通宝の裏側に足尾の「足」が刻印されているのが起源だそうです。でわ、本題に入ります。銅山が発見されたのは一五五〇年（天文十九年）、一六四八年（慶安元年）に徳川幕府の御用銅山となり江戸城・芝の増上寺・日光東照宮などの銅瓦に用いられ、長崎から海外にも輸出されましたが、江戸時代末期にはほぼ廃山同然となつたそうです。

一八七七年（明治十年）に古河市兵衛氏（古河鉦業株式会社開祖）が銅山を買い取り、経営に着手、近代的手法による鉦山開発を行い、相次いで豊富な鉦床を発見し急激に発展してきました。

銅生産量の増加に対応し、一八九〇年（明治二十三年）には日本最初の水力発電所を完成させ、廃水・採鉦の効率化を図り、数々の技術革新により足尾銅山は東洋一の生産量を誇る銅山に成長しました。この成長に伴い、亜硫酸ガスの発生や重金属を含んだ廃水による公害問題（鉦毒問題）が発生しましたが、この問題に古河氏は積極真摯に取り組み、独自の改良を加えて完成させた公害対策（除去）技術は、現在では国内だけでなく海外においても、環境負荷低減のために導入されています。この取り組みは日本の公害対策の起点となつたとのことでした。

当時の足尾町は約四万人の都市を形成していましたが、一九七三年（昭和四八年）閉山されました。しかし、坑内廃水の浄水処理や煙害地の植林は、明治時代から今日まで続けられています。このように森林の保全と緑化の推進活動など、環境との共生に向けた努力は今も続けられています。

毎年人口が減少して、現在では、一七〇〇人となっておりますが、足尾町の皆さんは足尾銅山の歴史館を整備され、誇れる偉業を後継者（今後の日本の担い手）に継承すべく広

報に努力されていることに深く敬意を表します。

現在も一八九〇年に完成の水力発電機が機能しているのは驚きです、大変貴重で素晴らしいことと思ひます。

この旅で、今日あるは多くのご先祖様のご努力のお蔭であることに深く感謝して、良い事は後輩に継承していこうと思ひました。

最後迄お読み頂き有難うございました。

読まれて訪れてみたい方のために、連絡先を最後に記述します。
足尾観光協会
日光市足尾町松原六一三
TEL〇二八八―九三―三四一七

私の視点

海自OB 海野 修作

私、海野修作は、1939年4月8日、中国黒龍江省哈爾濱市日本赤十字社産院にて生まれました。現在、82歳です。

海上自衛隊では、「あさかぜ」「はたかぜ」「いそなみ」「うらなみ」「横須賀通信隊」に在籍し通信士をしていました。その期間は僅かではありましたが、人生の真髄を学ぶ良い機会であり、皆様にいろいろとお世話になりました。海上自衛隊のOBというには、あまりにも期間が短くて物足りない感じを与えるかもしれません。しか

し、海上自衛隊で得た知識・経験は私の人生の基礎となっています。その時の経験と知識を少しでも社会に還元し、役立てたく思っています。よろしくお願いします。

海上自衛隊退職後は山あり谷ありの人生でしたが、大手電機メーカーの貿易部に職を得、そこで、海外版社(中国)の管理と人事を担当しました。企業の組織・経営(人、金、もの)に関心を持つ一大転機も得、早稲田大学大学院「国際経営学科」で国際経営学を学ぶ機会も得、MBA(国際経営修士)も取得しました。ここで学んだ中で、特にアメリカの国際経営戦略、中国の国際経営戦略には目から鱗でした。戦略の在り方に開眼しました。コンパクトマネーを含め、イギリスをまねた租借経営方式です。釣った魚には餌をやらないという政策ですかね!学び方は、ゼミへの参加、論文の閲読、インタビュ、ヒアリング、取材等あらゆる機会に多くの知己を得、国際情勢の理解に努めることでした。「虎穴に入らざれば虎子を得ず」「好きこそ、ものの上手なれ」の心境だったかも知れません。

そうした学びの中で「北方四島が日本に返還されることはない」の学びがあります。「何故」?日本人とロシア人とはものの考え方、行動様式が違い、さらに、血の流し方、血を流す量も違いました。ロシア人は、「ナポレオン戦争」と「ヒットラーのスターリングラードの攻防」で大きな代償(犠牲)の上に国土を維持しています。ロ

シア人為政者の願望は、「常に版図(領土)拡大」、日本人為政者の願望は、「為政者自身の自己保全」が根本にあり、そもそもスタート時点の姿勢が違いました。日本人為政者は、転封・移封があっても為政者の安堵が得られれば鬨志を燃やして敵対することはありません。ロシア人為政者は、庶民と一体となってナポレオンやヒットラーの侵攻を撃退するため自己犠牲を覚悟の上で焦土化作戦を敢行しています。しかし、日本人の場合、蒙古の襲来では、公家・幕府は存続の危機に瀕しましたが、構えが違っています。公家や幕府は高みの采配に徹し自らその矢面に立つことはありません。朝廷と幕府は庶民とは一心同体ではなく、朝廷と幕府は庶民に犠牲を強い、自ら犠牲を払う姿勢を見せていません。このような態度をロシアが見逃すわけがありません。私たちには歴史の検証が必要で、この様なことは戦後の海外居留者の引き上げ時にも留用・性接待等で見られます。(為政者は人身御供で安堵を得、帰国を果たし、人身御供は辛酸をなめています。)

しかし、昭和天皇はこの戦争は天皇に責任があると申し出てマツカサー元帥を感動させ安堵を得ています。今日の平和な生活があるのは昭和天皇のお陰です。為政者は昭和天皇の御言葉を見習い政治に励んで欲しいものです。今次の為政者はコロナウイルス対策では犠牲的精神は忌避し、文明謳歌ばかりを言っています。行く末が案じられ、本末転倒が感じられます。「へぼ将棋王

より飛車をかわいがり」かも知れませんが、皆さんはいかがお考えでしょうか!
私はこんな感じの人間です。関心のある方は茶話会でも開きながらこの続きをいかがですか。
連絡先は045-351-9200です。

私の本棚
海自OB 山中 才司



連れ添って四十年近くになる愛妻は、几帳面で片付け上手に綺麗好き、家の屋内外を問わず常に整理整頓されている。マンション居住時も持ち家の今も四人の子供達から「狭い汚い」と不平不満を聞いた事が無い。現在、間取り三畳に満たない書斎の本棚には凡そ三百冊の書籍が収まっている。どれも永久保存したい選りすぐりである。
秩父山中育ちの私は、入隊した当初、深田久弥著「日本百名山」等の紀

行文の詩的な素朴感に浸り、新田次郎著「孤高の人」等の山岳小説には自虐で犠牲的な精神に憧れていた。森村誠一著「野性の証明」等の推理小説は、物語中に必ず山の自然が絡んで事件解決に至る俊逸な描写に男女のエロティシズムを感じていた。

特に、潜水艦乗組時は、潜水艦の建造、修理が神戸市だという偶然も重なり三菱重工業社員で「孤高の人」のモデル加藤文太郎氏の足跡を辿り六甲山塊縦走五十キロ(須磨・宝塚)を幾度も踏破した若かりし頃がありました。また、月刊誌の趣味娯楽専門書も読んでいました。「山と溪谷社」は入隊時から二十年間、「世界の艦船」は護衛艦乗組時から定年までの三十年間、歴史に関する月刊誌「ランナーズ」等々を読み漁っていました。長期行動中の潜水艦では「水滴したたる艦内で露営するが如く」狭いベッド脇に積み上げたあらゆるジャンルの単行本を気の向くまま貪り読んでいました。

家庭を持ち家族が増え、潜水艦から教育畑へと配属替えとなり、読む本も必然的に変化しました。江田島一術校教官時は、教育視点から司馬遼太郎、松本清張、横溝正史を読み漁り、人間的にも階級的にも教育者らしくなつた積りになりました。ある時、落合校長の教務査閲(五十分)を受けるよう命ぜられました。落合校長の父上は兵学校出身で沖繩守備隊司令官、大田 實中将である事を

知り、平凡な教務では「平凡な教官」に見られ兼ねないと思いい図書館で海軍出身者の小説家を探しました。阿川弘之著、実録小説「井上成美」「米内光正」「山本五十六」、「戦艦長門の生涯」は目から鱗が落ちた。教務査閲後の質疑応答は「取り越し苦労」でしたが、その後、横須賀教育隊での新入隊員(曹候)教育、予備自衛官教育、港務隊での分隊長訓育等で大いに役に立ったのは言うまでもない程の徳操を学びました。

自衛隊退職時、一千冊を優に超える書籍が本棚に威厳を保っていました。本を手にとれば瞬時に、その時々の臨場感と共に我人生の香りと歩みが蘇りました。退職後、某薬科大学に十一年、某海運会社に二年余月に勤務し、このコロナ禍六十八才で中途退職しました。愛妻は几帳面で片付け上手、コロナ禍で早めの「断捨離」を強迫された私はもろ手を上げた。七百冊以上を処分し、今は、選りすぐりの凡そ三百冊が本棚で愛妻の日々の機嫌に戦々恐々としている姿は隣れでもあり、おかしくもある。

当の私は今、池波正太郎、藤沢周平の時代劇小説に夢中である。

終わり

会費等納入のお願い

横浜隊友会横浜南支部は、会員皆様の年会費と寄付を主な収入源として運営されています。

今回送付します隊友会横浜南支部の機関紙「隊友よこはま南」に「払込取扱票」を同封いたしますので、会員皆様に年会費と寄付金の納入をお願いいたします。寄付は例年ですと、「横浜南支部機関紙運営資金」と「新隊員激励神奈川音楽祭賛助金」をお願いしておりますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため「神奈川自衛隊音楽まつり」が中止となり、「横浜南支部機関紙運営資金」のみの寄付をいただきました。

令和3年4月現在の横浜南支部の会員数は515名。内訳は、特別会員35名、年会員136名、終身会員(10年会員等含む)344名です。「払込取扱票」は、総員に同封しており、年会費については、過去の未納分がある方は今年度分と合わせて納入をお願いいたします。昨年度の会費納入状況は、特別会員64.5%、年会員71.8%でした。今後の隊友会の円滑な運営のためにも年会費納入の促進が求められます。

また、年会費以外に寄付を募っています。昨年度の寄付(横浜南支部機関紙運営資金)については、82名の方々からご賛同を得ることができました。

なお、年度末の決算処理がある関係上、2月末までに納入をお願いいたします。振込料金は加入者(隊友会横浜南支部)が負担いたします。よろしくお願い申し上げます。

隊友会横浜南支部会計担当 吉田

神奈川地本便り



隊友会横浜南支部の皆様並びに「隊友よこはま南」をご愛読の皆様、平素は自衛隊神奈川地方協力本部に対しご支援ご協力賜り誠にありがとうございます。私は令和三年四月に予備自衛官課長を拝命しました鷲尾事務官と申します。地方協力本部勤務は九年ぶり二度目ですが、あらためて初心に返り微力ながら職務にまい進する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、令和二年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、隊友会におかれましても行事の中止等、活動に様々な制約があったことと思えます。その状況にありながら隊友会の皆様には「国民と自衛隊のかけ橋」の趣旨のもと、自衛官募集をはじめ地本の各種業務へのご協力、予備自衛官等に対するご支援等をいただき、おかげ様で神奈川地本は与えられた目標を達成することができました。あらためて御礼申し上げます。

今年度においても目標を達成できるよう部員一同尽力してまいりますので、引き続きご支援ご協力のほど、お願いいたします。

本紙をご愛読の皆様、ご親族、お知り合いの方で自衛隊に関心をお持ちの方がいらつしやいましたら、神奈川地本又は最寄りの出張所等にご連絡いただけると幸いです。

また、神奈川地本では、ホームページ、ツイッターでも各種情報を発信しております。ぜひ一度ご覧いただくとともに、お知り合いの方にご紹介ください。よろしくお願いいたします。



自衛官等採用試験の受付期間

- ・第2回一般曹候補生：7/1～9/6
- ・防衛大学校(一般)：7/1～10/27
- ・防衛大学校(推薦)：9/5～9/10
- ・防衛大学校(総合選抜)：9/5～9/10
- ・防衛医科大学校(医学科)：7/1～10/13
- ・防衛医科大学校(看護科)：7/1～10/6
- ・第2回予備自衛官補：7/1～9/17

編集後記

コロナ禍にて様々な行動が制約されていますが、プラス思考で乗り切ってください。編集子

